

## 2012年度事業計画

### ●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

#### ①研究会・学術講演会の開催事業

##### 1. 日本循環器学会年次学術集会

第77回日本循環器学会学術集会(JCS2013)

会期：2013年3月15日(金)～3月17日(日)

会長：水野 杏一(日本医科大学内科学講座(循環器・肝臓・老年総合病態部門))

会場：パシフィコ横浜(横浜市)

メインテーマ：

世界へ羽ばたく日本の循環器病学

Advancing Cardiovascular Medicine: International Harmony Towards Global Progress

- (1) 一般演題(口述,ポスター,Featured Research Session)
- (2) 美甘レクチャー
- (3) 真下記念講演
- (4) 特別講演
- (5) 会長講演
- (6) 会長特別企画
- (7) プレナリーセッション
- (8) シンポジウム
- (9) ジョイントシンポジウム(AHA, ACC, ESC, KSC)
- (10) ラウンドテーブルディスカッション
- (11) トピック
- (12) コントロバーシー
- (13) ミート・ザ・エキスパート
- (14) モーニングレクチャー
- (15) Late Breaking Clinical Trials
- (16) 第41回循環器教育セッション
- (17) 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- (18) 審査講演会  
Young Investigator's Award審査講演  
国際留学生YIA審査講演  
第3回コメディカル賞審査講演会
- (19) ガイドラインに学ぶ
- (20) ガイドライン解説
- (21) 第9回心臓移植セミナー
- (22) 保険医療セミナー
- (23) 第3回海外留学生セミナー
- (24) 第12回医療安全・医療倫理に関する講演会
- (25) 第12回禁煙推進セミナー
- (26) 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
- (27) 第3回男女共同参画委員会セッション
- (28) コメディカルセッション
- (29) メディカル・コメディカルジョイントシンポジウム
- (30) サテライトセミナー(ランチョンセミナー,ファイアサイドセミナー):会期中3日間
- (31) 機器・書籍展示

##### 2. プレレジストレーション

学術集会参加者向けに,参加登録,教育セッション,ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションをオンライン上で行う。

##### 3. 印刷物・製作物

第77回学術集会関連の印刷物・制作物として以下のものを製作する。

抄録CD, プログラム, 教育セッションテキスト(循環器専門医Vol.20 Supplement 2013), コメディカルプログラム抄録集, 企業展示ガイドブック, ピンバッジ, 英文パンフレット

##### 4. MyAbstracts

抄録CDに掲載されている演題および共催セミナー抄録を検索し,必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB上で行う。

##### 5. トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は中国,香港,台湾,韓国は5万円,その他の国は10万円とする。

##### 6. プレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「プレエントリーステム」を公開する。

##### 7. 託児室

学術集会会期中に参加者に対して臨時託児室を設置する。

##### 8. 日本循環器学会ブースの出展

第77回学術集会の期間中,展示会場にて学会活動紹介のための日本循環器学会ブースを出展する。

##### 9. 日本循環器学会地方学術集会

第107回北海道地方会

会期：2012年6月23日(土)

会場：北海道文化活動センターかでの27(札幌市)

会長：長谷部 直幸(旭川医科大学内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学)

第108回北海道地方会

会期：2012年11月24日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学)

第154回東北地方会

会期：2012年6月2日(土)

会場：岩手医科大学附属循環器医療センター(盛岡市)

会長：伊藤 宏(秋田大学医学部内科学講座循環

器内科学分野)

第155回東北地方会

会期：2012年12月8日(土)  
会場：仙台国際センター(仙台市)  
会長：久保田 功(山形大学医学部内科学第一講座)

第224回関東甲信越地方会

会期：2012年6月30日(土)  
会場：日本大学会館(千代田区)  
会長：久代 登志男(日本大学医学部総合健診センター)

第225回関東甲信越地方会

会期：2012年9月29日(土)  
会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)  
会長：丹羽 明博(平塚共済病院 循環器科)

第226回関東甲信越地方会

会期：2012年12月1日(土)  
会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)  
会長：高沢 謙二(東京医科大学八王子医療センター循環器内科)

第227回関東甲信越地方会

会期：2013年2月9日(土)  
会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)  
会長：天野 篤(順天堂大学心臓血管外科)

第139回東海地方会

会期：2012年7月7日(土)  
会場：アクトシティ浜松(静岡県浜松市)  
会長：椎谷 紀彦(浜松医科大学第一外科)

第124回北陸地方会

会期：2012年7月8日(日)  
会場：富山国際会議場(富山市)  
会長：臼田 和生(富山県立中央病院内科(循環器))

第140回東海・第125回北陸合同地方会

会期：2012年10月20日(土)・21日(日)  
会場：ウィルあいち(愛知県女性総合センター)(名古屋市)  
会長：室原 豊明(名古屋大学循環器内科)

第113回近畿地方会

会期：2012年6月16日(土)  
会場：大阪国際会議場  
会長：宮崎 俊一(近畿大学循環器内科)

第114回近畿地方会

会期：2012年12月15日(土)  
会場：大阪国際会議場(大阪市)  
会長：小室 一成(大阪大学循環器内科学)

第100回中国・四国合同地方会

会期：2012年6月22日(金), 23日(土)  
会場：広島国際会議場(広島市)  
会長：木原 康樹(広島大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学)

第112回九州地方会

会期：2012年6月30日(土)

会場：沖縄コンベンションセンター会議等A, B(宜野湾市)

会長：大屋 祐輔(琉球大学第三内科)

第113回九州地方会

会期：2012年12月8日(土)  
会場：くまもと県民交流館パレア(熊本市)  
会長：光山 勝慶(熊本大学生体機能薬理学分野)

②学会学術誌,学術論文集,その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal刊行

英文誌Circulation Journal Vol.76 No.1~No.12を発行する。依頼論文 (Review Articles, Editorials, Guidelines等)を引続き掲載する。

2. 国際編集会議

AHA開催期間中及び年次学術集会に, Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し, 国際編集会議を開催する。

3. 会告刊行

会告2012 No.1~No.6を発行する。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」に, 開催された地方会のデータを登録する。

5. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について, 会員及び関係学会からの意見を踏まえて検討する。またICD-11作成作業は関係分野の学会と協力して実務作業を進める。

6. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信する。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する約4,000施設に調査依頼を行い, 施設概要, 検査や治療の実施件数についてWeb上で調査(2011年1月1日~12月の1年間)を行う。

2. 学術研究班

1. 災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン  
日本高血圧学会, 日本心臓病学会との合同で作成する。  
(班長：下川 宏明)
2. (冠動脈・不整脈を除く)カテーテルインターベンションのガイドライン(仮題)  
(班長：中西 敏雄)
3. 心房細動治療(薬物)ガイドライン(改訂版)  
(班長：井上 博)

4. 川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：小川 俊一)
5. 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：許 俊鋭)
6. 急性心筋梗塞(ST上昇型)の診療に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：木村 一雄)
7. ペースメーカ, ICD, CRTを受けた患者の社会復帰・就学・就労に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：奥村 謙)
8. 冠攣縮性狭心症の診断と治療に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：小川 久雄)
9. 脳血管障害, 腎機能障害, 末梢血管障害を合併した心疾患の管理に関するガイドライン(改訂版)  
(班長：伊藤 貞嘉)
10. 血管機能の非侵襲的評価法に関するガイドライン  
(班長：山科 章)
11. 重症心不全に対する植込み型補助人工心臓治療ガイドライン  
(班長：許 俊鋭)
12. 慢性肺動脈血栓塞栓症に対するballoon pulmonary angioplastyの適応と実施法に関するワーキンググループ  
(主査：伊藤 浩)

### 3. ガイドライン作成

2010-2011年度活動の新規2班とワーキンググループ1班, 2011年度活動の改訂版7班のガイドラインについて, オリジナル版とダイジェスト版を作成し, 『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2012』として制作し, ホームページ上に公開する. また, 第77回学術集會時に「ガイドライン解説」および「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催する.

### 4. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち次の8班を英訳化してホームページに掲載する.

「安定冠動脈疾患における待機的PCIのガイドライン」

「心筋梗塞二次予防ガイドライン」

「不整脈の非薬物治療ガイドライン」

「臨床心臓電気生理検査に関するガイドライン」

「急性心不全治療ガイドライン」

「大動脈解離診療ガイドライン」

「虚血性心疾患に対するバイパスグラフトと手術術式の選択ガイドライン」

「循環器診療における放射線被ばくに関するガイドライン」

**5. ガイドラインダイジェスト版ポケット版作成**  
臨床現場での利便性を考慮し, ガイドラインダイジェスト版をポケットサイズとして作成し, 第77回学術集會にて無料配布する.

### 6. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究や translational researchについて, 我が国の先進医学研究に寄与することを目的に, 2件の研究支援助成を行う.

### 7. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し, あるいは医師主導型臨床試験を支援する.

- ・拡張期心不全の治療法確立のための大規模臨床試験(J-DHF Study:主査 堀 正二)
- ・耐糖能異常症例における食後高血糖改善による心筋梗塞再発予防に関する研究(ABC Study:主査 北風 政史)
- ・日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究(JASS:主査 山本 一博)
- ・虚血性心疾患に対する外来型心臓リハビリテーションの有効性に関する多施設前向き登録研究(J-REHAB:主査 後藤 葉一)
- ・周産期(産褥)心筋症の発症に関する登録研究(PPCM registration:主査 池田 智明)
- ・急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査(NCVC-AM:主査 小川 久雄)

### 8. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会を中心に, 心原性ショックに関するレジストリを開始する. 2012~2013年度の2年間で2万件のデータ集積を目標とし, データの収集および解析を行う.

### 9. 留学支援助成

学術集會の発展・医学研究の振興を願って, 海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う.

### 10. 国内交流に関する事業

他学会からの要請に応じて, 随時, JCSとしての対応を検討する. また, 引き続きICD-CRT研修制度協議会での協議を継続する.

### ④国際交流事業

#### 1. 国際交流事業

- ・海外学会へのブース出展  
ESC・AHAへブース出展を行う.
- ・海外学会と共同シンポジウムの開催

・国際名誉会員

第77回学術集会以て国際名誉会員の表彰を行う。

## 2. 学会プロモーションDVDの制作

学会活動の広報用に学会活動DVDの企画・制作を行う。

### ●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

#### ①循環器専門医事業

##### 1. 専門医制度事業

(1) 第23回循環器専門医資格認定試験を次のとおり行う。

会期：2012年8月26日(日)

東京会場：東京国際フォーラム(東京都千代田区)

大阪会場：梅田スカイビル(大阪市北区)

(2) 循環器専門医資格の更新審査を行う。

(3) 循環器専門医研修・研修関連施設の指定・更新審査を行う。

(4) 『循環器専門医』は2冊、Vol.20 No.2とVol.21 No.1を発刊予定。

#### ②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

##### 1. 第8回循環器専門医を志す研修医のための卒業セミナーの開催

主に研修医を対象に、循環器学の面白さをアナライザーシステムを導入したレクチャーやグループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催する。

##### 2. 卒業教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に資するため「循環器研修ビジュアルシリーズ」「第41回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行う。

##### 3. 学術集会DVD

第77回学術集会の講演内容を会期後に視聴研修していただくことを目的に、講演内容を収録したDVDを製作・販売する。

##### 4. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催する。

(1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース

(2) AHA ACLSプロバイダーコース

(3) AHAハートセイバーAEDコース

また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。

(1) AHAコアインストラクターコース

(2) AHA BLSインストラクターコース

(3) AHA ACLSインストラクターコース

##### 5. コメディカルセミナーの開催

循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、「心電図」「画像」をテーマとしたコメディカルセミナーを開催する。プログラムには、企業共催講演を含む。

##### 6. 男女共同参画委員会セッション・セミナーの開催

現状を把握し、今後検討すべき問題を明らかにするため男女共同参画委員会セッションおよびセミナーを開催する。

### ●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

#### ①心臓移植等にかかる事業

##### 1. 心臓移植に関する事業

(1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。

(2) 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討を行う。

(3) 1997年～2012年秋までの適応検討症例について、追跡予後調査(2年ごとに実施)を実施する。

(4) 心臓移植実施施設(成人・小児)の認定に関する審査を関連の学会・研究会と行う。

#### ②社会への広報・啓発事業

##### 1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを開催する。

##### 2. 学術集会プレスカンファレンス

第77回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、プレスカンファレンスを開催する。

##### 3. 市民公開講座

第77回学術集会の会期中に、市民公開講座(会長企画)を開催する。

##### 4. 第11回禁煙市民公開講座の開催

第77回学術集会において禁煙推進のための市民公開講座を開催する。

##### 5. 第11回心肺蘇生法市民公開講座の開催

第77回学術集会開催時に、一般市民を対象とした心肺蘇生法の講習会を行う。

##### 6. 学会ホームページの改修

学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載する。

## 7. 禁煙ポスターの増刷

禁煙指導のための教材として無料配布している禁煙ポスターの増刷を行う。

## 8. 禁煙ガイドブックの制作・販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の制作・販売を行う。

## 9. 職員用AHAハートセイバーAEDの開催

JCS事務局職員を対象としたAHAの心肺蘇生法コース、ハートセイバーAEDを開催する。

## 10. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力して主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行う。

## 11. 臓器提供意思表示カードの普及活動

従来の大学・短期大学・自衛隊地方部隊へのカード配布による普及・広報活動を見直し、社会への新たな広報活動を検討する。

## 12. 医療安全に関する事業

循環器領域の医療安全の向上を目的として、本委員会内規にある業務内容に沿って業務を行う。

## ●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 一般社団法人への移行

2012年4月に予定される一般社団法人への移行後、新法人として必要な事務作業を行う。規約の検討については規約審議部会にて取り扱う。

### 2. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の普及、実施を行う。

臨床研究の利益相反に関する共通指針に基づく本学会細則の普及・実施を促し、学会員の意識向上を目指す。

### 3. 団体保険制度

本学会会員が有利な条件で加入出来るよう、勤務医師賠償責任保険及び総合補償保険について団体契約を結ぶ

### 4. 調査委員会および事務局あり方検討委員会

調査委員会では、海外旅費支給にかかる支出、WCC招致に関する支出、APSCにかかる支出等について、学会内外を対象に必要な調査を行い、しかるべき対応を取る。また関連して、学会事務局の問題点確認と今後の方向性について検討するため、事

務局あり方検討委員会を設置して検討を行う。

## 5. 第76回社員総会

一般社団法人移行後の社員総会を4月に開催する。